

整理番号	38003
評価対象年度	令和4年度
編成区分	当初

事務事業評価(事前)シート

提出日	令和3年11月25日
事業担当課	南総合事務所 地域福祉課

《基本情報》

事務事業名	地域活性化事業費(恐竜パーククルーズ実証実験・モニターツアー)		<input checked="" type="checkbox"/> 新規 <input type="checkbox"/> 拡大
基本施策	A2 交流のための都市機能を高め、賑わいを創出し、観光まちづくり※1を進めます		
2025年度にめざす姿 (なにが、どうなっている)	なにが	どうなっている	
	訪問客・事業者・市民が	交流を通して、ともに満足している。	
個別施策	A2-1 観光資源を磨き、魅力あるコンテンツを創造します		
2025年度にめざす姿 (なにが、どうなっている)	なにが	どうなっている	
	観光資源が	磨かれ、魅力あるコンテンツとして活用されている。	

《事業の目的及び現在の取組み概要等》

現状・問題点	①野母崎地区の人口が減少しているなかで、最終的には定住人口の増加が重要であるが、即効性のある交流人口の増加とそれに伴う経済の活性化が喫緊の課題である。 ②軍艦島クルーズは人気があるが、上陸には物理的なキャパシティがあり、今後大幅な集客増(増便)は見込めないなか、既存の機材(船舶)を活用し、新たなクルーズ事業実施について船会社からの協力が見込める。
目標(誰(何)をどのような状態にしたいのか)	①軍艦島クルーズに次ぐ新たなクルーズ事業の実施により、船会社及び野母崎地区の宿泊施設や飲食店を活性化させる。 ②長崎半島地域の交流人口に伴う交流の産業化により、地域住民のシビックプライドが醸成される。
課題(どういことをする必要があるのでか)	船会社がクルーズ事業を実施できる体制を整えるにあたって、運航面及び収支面の確認を行うために実証実験を行う必要がある。
上記の問題点に対して現在行っている事業の有無	無
当該新規・拡大事業を行うにあたり、縮小・統合・廃止する事業	無

《事業の概要》

<p>事業の具体的内容 (対象、事業主体、事業期間、総事業費、事業費内訳等記載)</p>	<p>長崎のもぎき恐竜パークへの航路について魅力創造と誘客の実証実験を行う。 候補ルート:大波止～野母崎</p> <p>令和3年度の事務費業評価会議においては、採択を得ていたものの、予定していた浮棧橋での運航ができず、予算化を見送ったが、漁協と協議を行い、野母漁港の岸壁を使用することで運行が可能となった。市民及び観光客を対象にできるだけ多くの方に、恐竜パークの魅力を感じていただくと同時に、旅行エージェントも招待し、旅行商品化の可能性等の見極めを行う。</p> <p>【事業期間】令和4年度 【総事業費】1,000千円 【事業費内訳】令和4年度 補助金:1,000千円(消耗品費:20千円…コピー用紙など 広告費:80千円…パンフレット作成など 運航費:900千円…船会社赤字補填額)</p> <p>【事業スケジュール】 令和4年 1月 クルーズ実証実験 実施要領 作成準備 令和4年 3月末 クルーズ参画事業者募集 令和4年 4月以降 クルーズプロモーション開始 令和4年 6月ごろ クルーズ予約受付開始 令和4年 7月～9月 クルーズ実証実験 令和 4年 12月 事業評価</p>						
<p>業務量の増減</p>	<p>無</p>						
<p>市民等の参画と協働のまちづくり (取組みに☑をし、その内容を記載)</p>	<p><input type="checkbox"/> 情報共有 <input checked="" type="checkbox"/> 参画 <input checked="" type="checkbox"/> 協働</p> <p>長崎半島活性化協会が主体となり、5社ある船会社に参加を募り、運航経費の1/2を上限に補助金を支払う。</p>						
<p>事業期間</p>	<p><input checked="" type="checkbox"/> 単年度 <input type="checkbox"/> 単年度繰り返し <input type="checkbox"/> 期間限定 (年度～ 年度)</p>						
<p>予算額</p>	<p>金額(千円)</p>	<p>国</p>	<p>県</p>	<p>地方債</p>	<p>その他</p>	<p>一般財源</p>	
	<p>当年度</p>	<p>1,000</p>		<p>1,000</p>			
	<p>総額</p>						
	<p>財源名称</p>	<p>地域振興基金</p>					
<p>成果(活動)指標</p>	<p>指標(単位)</p>	<p>旅行商品の数</p>					
	<p>年度</p>	<p>令和4年度</p>	<p>令和5年度</p>	<p>令和6年度</p>	<p>令和7年度</p>	<p>令和8年度</p>	
	<p>目標値</p>	<p>0</p>	<p>1</p>				
	<p>成果指標及び目標値の説明</p>	<p>事業化を検討する事業者が1社以上現れることで、当該クルーズ事業の実施により、交流の産業化や地域住民の観光客の増が図られるため、旅行商品の数を目標値とした。</p>					

評価結果

(1) 今後の事業の方向性と理由

<input checked="" type="checkbox"/> 採択	<input checked="" type="checkbox"/> 所管案のとおり	<input type="checkbox"/> 事業のやり方改善	<input type="checkbox"/> 事業規模拡大	<input type="checkbox"/> 事業規模縮小
	<input type="checkbox"/> 事業統廃合	<input type="checkbox"/> その他		
<input type="checkbox"/> 不採択	<input type="checkbox"/> 企画不十分			
<input type="checkbox"/> 一部不採択	<input type="checkbox"/> 企画不十分			

(2) 評価会議における指摘事項

長崎のもぎき恐竜パークがオープンし、さらなる来訪者の増加が期待される中、恐竜パーククルーズの運営に係る実証実験として、市民や観光客を対象としたモニターツアーを行うものである。

野母崎地区の新たな魅力造成により、交流人口の増加や地域の活性化に寄与すると考えられることから、事業の実施は適当である。

ただし、事業実施に対する意見は次のとおり。

【事業実施に対する意見】

- ・地域の方の協力が不可欠であり、積極的な連携に努めること。また、他の公共交通機関との連携を図ること。
- ・モニターツアーではあるものの、海路に興味をもってもらえるよう、付加価値をつける工夫を行うこと。